



第46号令和5年 10月発行
社会福祉法人~~鷺~~濟生会
宮城県濟生会みやぎ乳児院
富谷市成田 8丁目 4-6
TEL 022[351]5215

<https://miyagi-saiseikai.com/nyujiin/>

ご挨拶



みやぎ乳児院施設長 遠藤清之

皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年の夏は、異常と言っていいほどの暑さが続きました。「熱さ」と言ってもいいかもしれません。そのような中、7月から8月にかけて、乳児院の移転、引っ越しを行いました。

荷物の引っ越しは、3回に分散して行い、子どもたちは、8月31日に、大型バスの2往復での移動となりました。50年来の物の量と廃棄の選別は、職員が手分けして行いました。

今回のまんまるでは、新しい施設のご紹介も兼ねて写真集を掲載しております。

新施設の運営は、小規模グループケアになるため、我々職員も初めての経験になります。施設を創るときは大まかな想定の下につくってきましたが、いざ、子どもたちと一緒に動くとなると、さまざまな小さいけれども、大きな問題が出てくるものです。建設業者さんのご協力を得ながら対応しているところです。

まだまだ落ち着きませんので、皆さんにもご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご寛容いただき、よろしく申し上げます。

I 理念

濟生会創設の精神のもとに、児童を取り巻く社会情勢の変化に柔軟に対応し、子どもが大人に守られ、大切にされ、安心して生活できる開かれた安全な養育環境を整え、入所児童の生命と人権を守り、健やかな成長を支援する。

II 基本方針

【保育目標】 素直で、明るく、優しい、健康な子の育成

- ・子どもの個性を尊重し、その人権を守り、最善の利益を追求します。
- ・子どもの発達段階に応じた生活習慣等の確立を支援します。
- ・子どもとの愛着関係を育み、豊かな感性を育てます。
- ・子どもの気持ちをくみ取り、また意見を聞きながら自立を支援します。
- ・子どもの成長を喜び、再出発(家族再統合、里親養育等)を支援します。
- ・職員は、子どもとの関係性を常に重視し、向上心、探求心を持ち、柔軟に子どもたちを支援します。

富谷市に移転しました

9月1日から新しい施設での生活がスタートしております。今回は、新しい施設の紹介と移転時の様子を写真でお知らせします。

乳児院外観



宮城県済生会の建物です。
左下に乳児院の玄関があります。



乳児院1F

名称は、プレイルームは「かがやき」、地域交流スペースは「みらい」です。



宮城県済生会において、地域との交流をしていく、地域交流スペースを用意しました。

キッチンもあります。



1F 奥には子どもたちの遊びのスペースがあり、そこからは食事の調理の様子が見ることができます。

ブランコもあります。



乳児院2F

2ホールの名称は、新生児「なのはな」、乳児「たんぽぽ」です。

2Fは、新生児、乳児の生活スペースと一時保護やショートステイなどに対応するセクションになります



新生児の生活スペース、新生児室です。



乳幼児ユニットのスタッフ廊下です。



乳児の生活スペース、乳児室のほふく室になります。

下は、寝室と浴室です。



乳幼児ユニットには、そのほか家族相談室 (←), 畳敷きの面会室 (↓), 調乳室 (↓) があります。



乳児院 3F

4ホームの名称は、「さくら」「ちゅうりっぷ」「ゆり」「ひまわり」です。

3Fは、乳幼児の生活スペースとして「4ホーム」と家庭支援ユニット2室になります。



ホーム玄関を入ると、廊下があり、両脇にトイレ、洗面所、お風呂、キッチン、寝室があり、つきあたりがリビングダイニングになります。



リビングダイニングになります。



寝室は、和室になります。



1対1の対応等で使用する観察室になります。(2室)



心理療法室と廊下の遊戯スペース



家庭支援室を2室用意しました。親子での宿泊や里親さんとのマッチングなどに利用していきます。

ダイニング
キッチン



寝室



七夕まつり

★ ひかりの輪のルーム



★ 絵具で天の川

子どもたちの手で
白と青の絵具で塗りました…
最後は絵具だらけに



★ 廊下に天の川



星探し

星集め



今回の七夕お楽しみ会は、引っ越し前の最後の行事となりました。そのため子ども達みんなと一緒に何かを作りたいと思い、絵の具を使って子どもたちが思い思いに手形や足形を付け、大きな天の川を製作しました。

また廊下には大きな天の川が…！天井を見上げてみると…たくさんのお星さまも見つけることができたね！星に向かって手を伸ばす姿や、キラキラ星の歌に合わせて身体を動かす姿など、子どもたちの沢山の笑顔を見ることが出来ました。ここの乳児院での最後の素敵な思い出を子ども達みんなで作る事が出来ました。



編集後記

富谷へ移転後、最初のまんまとなります。

慣れ親しんだお家から引越し、始まった新しいお家での生活。不安な様子も見られましたが、新しいものに興味津々で触れてみては様々なことに挑戦しています。今後も子どもたちを見守り、たくさんの可愛らしい様子をお届けいたします！